

令和7年度 関市スポーツ推進審議会 議事録（要約）

日 時：令和8年2月5日（木）14時00分～

会 場：アテナ工業アリーナ 2-2会議室

参加者：名簿のとおり（欠席2名）

1. 開会あいさつ（協働推進部長）

（協働推進部長）

本審議会は、本市のスポーツ推進の方向性を定める、第2期スポーツ推進計画を審議する重要な場でございます。皆様の専門的な立場や広いご見識で、活発なご意見ご助言を賜りたく存じます。

2. 委員の紹介

喜久生 明男 （一財）関市スポーツ協会 会長 → きくいけ整形外科名誉院長

小野木 卓 （一財）関市スポーツ協会 専務理事 → 会長

黒井 秀雄 関市自治会連合会 書記 → 副会長

関市小中学校長会 会長 藤根 隆 → 平田 聡子

3. 会長あいさつ（喜久生会長）

（会長）

関市の将来像を審議する会です。ぜひ皆様と一緒に話し合っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。

4. 議 題

（1）第2期スポーツ推進計画の点検と評価について （参考資料 別紙1）

事務局より説明

【意見・質問】

（会長）

指導者の育成について、指導者の育て方、関市としてどこでどういう資格を取ったらみんなが認める指導者になれるのかという基準があるのでしょうか？自主的に日本スポーツ協会のいろいろな講習を受ける方もいらっしゃるんですが、なかなかそのレベルで講習を受ける人（関市）は少ないと思われます。けれども（関市としては）指導者を欲している。例えばこの後の「地域移行の問題」でもあると思いますが、この辺りはどうとらえたらいいものなのかと思います。何か基準（関市としての）はあるのでしょうか？

（事務局）

市としてはスポーツ少年団であればその講習（スポーツ少年団の指導者講習）を受けてくださいぐらいです。その上の資格となると、専門の協会に属している人に教え

てもらおうとかになるので、基準としてはないと思います。

(会長)

将来的なことも考えて、関市独自の基準を作ったほうがいいと思います。国でそういう基準があればいいのですが、そうでなければ例えば救命救急の講習を受けているだとか、指導者としての講習会を受けたとか4つか5つぐらい、簡単な最低ラインを決めて市のスポーツ推進課もしくは関市スポーツ協会が主催して講習会を設定すればいいと思います。2月にあるスポーツ講演会も参加すれば1ポイントもらえるとか、そうすればスポーツ講演会の参加者も増えるので。私は常々そういう関市独自の基準があればいいと思います。

(委員)

今のに付け足しですが、日本スポーツ協会はものすごく指導者育成に力を入れています。すでに資格を取っている（持っている）人たちは山のようにいると思います。しかし、資格を持っていても活動する場所がない。教える場所がない人たちがいて、何年かに1度の資格の更新に関しても、更新費用を払っていかねばならないので、途中でやめてしまう人もいます。だから、現在関市でどれぐらいの有資格者がいるというのを把握したほうが良いと思うし、資格を持っていればその人に案内（活動している団体の紹介）が行くとか、ここに指導に行ってくださいとかお願いしたりすれば、指導者不足はないと思うんです。ただ資格を持っているだけで、指導も何もされていないのはそこが機能していないと思います。本当は指導をしたいと思っている人は水面下には絶対いると私は思います。そういうのはもったいないと思います。

(会長)

いろいろな講演会でスポーツ選手が講演されることがありますが、いつもそこで上がる問題が、（講演に）来てくれる人より来てくれない人が困ると言っている。指導しているのに（このような講演会に）来てくれない、興味を持ってくれない人が困ると言っている。そういう人たちをいかに吸い上げるか、そのためにどうしたらいいのかってところを考えたい。だからどうしてもこういうところ（こういう講習）を取らないといけないよと、あまり日本スポーツ協会が実施するようなレベルの高いことではなく、関市独自のものがあっていいのではないかと思います。もちろん有資格の調査を積極的に行ってください。

(委員)

審議会の資料の数値について、単年の数値を出すのではなく、グラフ化して過去の数字と比べれるものにするより分かりやすいです。経年変化がわかるようなものにするよいです。

(2) 部活動の地域移行について（進捗報告）

（参考資料 別紙2）

関市教育委員会より説明

【意見・質問】

(委員)

質問ではないんですけど、私は地域クラブの25番のキウイスポーツクラブのソフトテニスサークルで指導者をやっております。今、キウイスポーツクラブがソフトテニスの受け皿となって、地域クラブに登録させて貰ったんですけど。実際今中学生が3人ですが、現役の2年生が今1人ということですね。実際今年の市体連以降はゼロに

なってしまいますので、本当に続けていくのがものすごく難しいと思っております。洞戸・板取地域ですと、今このクラブしかありませんので。なかなか加入するクラブもなく。市内に行こうと思ってもやはり板取から1時間かかってしまうので。そのあたりを、親御さんたちにも、説明していかなきやいけないなと思っております。そういった中で、ソフトテニスであれば、市内にはたくさんクラブがありますので、そういったところを進めているのが現状です。あと28番の下有知ソフトテニスも今1年生が1人。桜ヶ丘も1年生が4人。小金田も一番マンモス校が、1年生がゼロということ。本当にこの2年3年後に、地域クラブ、どの程度残るかということもあります。本当に、もっとコンパクトに、まとまっていくという必要もこれから出てくるかなと思っております。そういったところが、今後の課題かなと思っております。

(委員)

質問ですが、地域クラブを登録するための条件っていうのはどういうものがありますか？

(教育委員会)

地域クラブの条件は、設置要綱っていうのがありまして。その設置要綱には、関市の子どもたちが、半分以上いてくださいということになっています。

(委員)

人数は何人からですか？

(教育委員会)

人数の規定はありません。スポーツ少年団は原則10人以上っていうことが謳われていますが。地域クラブではそれは一切謳っていません。やっぱり、人数でやってしまうと、もうそこで出来ないっていうところが出来てしまうので。それは私たちの趣旨とは違うんです。たとえ1人でも入ったら、その子の選択の可能性として、やっぱり、残してあげないといけないので、1人でも大丈夫だという考えで今のところいます。

(委員)

指導者の数に基準はありますか？

(教育委員会)

指導者の数は、原則ですが、生徒数よりも多い登録はダメです。要するに、1人しかいないのに、指導者3人とか。こちらから指導者の数で、補助金を与えておりますので。指導者1人につきいくらっていうことになりますので。今年はそうやっていきます。今後は指導者への謝金が、原則、謝金という名目ではなくなりますので。クラブに対して、補助を出すことに変えます。今年は指導者に対して、補助金を出していたところを、今後はクラブに対して補助しますので。指導者が何人居ようと、3人分なら3人分にするっていうふうにしてやっていきたい。その時に、根拠となる数字を出す時に、やっぱり、指導者が3人までって言いながら、生徒1人しかいないのに3人までは、それは出せない。そこのところで、生徒の人数を指導者越えない形でやっていきたい。まだ、実際予算は3月の議会後にしか決定しないので。

(委員)

私の地域は武芸川で、武芸川の地域部会に入っていて、武芸川では元プロ野球選手の方がスポーツ部長をやっています。彼は指導者でもあるんですけども、子供達にもっと色々なスポーツを体験して貰いたいっていうことで、色々なバレーボールとか、あとはテニスとか、野球もそうなんですけども。スポーツ教室、特に低学年でやった

こともない、初心者対象でスポーツ教室を開いています。今度もバレーボール教室があるみたいですけど。たとえ1人でも2人でもやりたいって子があつたら、教室をやりますってということで、頑張ってみえるんですけど。やっぱり、もうちょっと小学生を対象に、そういった体験会みたいなものを市でも開いていけば、もっと中学なつてもやりたいかなつていう風に思います。よかつたらぜひ考えてください。

(3) ねんりんピック岐阜2025について

(参考資料 別紙3)

事務局より説明

【意見・質問】

なし

5. その他

(委員)

関市スポーツ協会からスポーツ推進課さんへ、あるいは、市役所全体へのお願いです。これまで、スポーツ推進課さんのご指導いただきながら、関市スポーツ協会はやってこれているという事については十分に承知しているのですが、これからのスポーツ協会の活動を考えた時に、活動する部分については、今課題はいくつもあるんですけど、まだ私たちの活動を、生み出す、あるいは継続するっていう事については、やっていけるか、あるいは、頑張つてやろうとしているスタッフも、あるいは役員も、大勢いるなと思つています。事務局を中心とする、いわゆる経営的な側面については、残念ながら役員の中にスペシャリストがいません。

要は、予算を組むとか、執行するとか、あるいは見直すとか、そういう部分については、会長である私自身も、あるいは副会長のスタッフも、あるいは専門理事も含めて、いわゆる市役所の職員さんのような、長年こう行政に携わり、先ほどお話ししたような予算を組む、執行する、見直すというようなサイクルで、事業をこう見ていくような視点を持ったものがないっていうところが、今大変気になっています。よつて、関市のスポーツの推進を考えた時に、スポーツ協会が果たす役割がどれだけかあるっていう事については、ぜひ、頑張つてやっていきたいなつていう気持ちはありますので、その部分についてスポーツ推進課さんもスポーツ協会に、予算を補助金としてとか、組むだけという関わりではなくて、組んで中に入れてでも良いので、適正な執行の指導をしていただけるような、そんなスタンスでもつてこれから、スポーツ協会とスポーツ推進課さんの関わりを深く持ちながら、適正な協会の活動の、予算の執行について、改善を計りたいなつていうふうに思つておりますので、ご指導をお願いしたいと思つております。

(委員)

いろいろ気になつた点はありませんが、我々スポーツ推進委員会は来週、東海大会に出まして、我々の活動をこういうプロジェクターを使って発表して参ります。先日も(スポーツ推進課の方に)見ていただいて、励ましていただけました、ありがとうございます。皆喜んでおりましたので。関市もV字の地形をしておりますので、集まつて、ここでやるっていうのも大切ですけど、我々が出向いていつて、その中学校の体育館で地元の、お年寄りや、子どもたちを集めて、スポーツをするっていうもののコーディネートをして、指導やみんなでワイワイするようなものを、実施していこ

うということ、とりあえず推進して参りますし、そういう活動もこれからしていこうと思っております。皆様のご協力をいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(委員)

私も初めてこの会議に出ましたが、いろんな方たちが、子供たちの健やかな健康のため、生涯スポーツに親しんでいくために、いろんな角度から、支えていただいている事が分かりました。今後ともよろしくお願いいたします。

(委員)

私はスポーツ協会の中では一番、子どもたちが初めてスポーツやるようなところからの関わりをしております。去年も言いましたけど、スポーツの段階でなかなか（子どもたちの）体力ができないっていうような、現状の中で動かしております。やっぱり、スポーツはするにも見るにも、大事な事で、ご協力させていただいてるところでございませけれども、毎年毎年新学期になると気になるのは新入団員が何人入るのかどうかということです。祈るような気持ちで4月を迎えています。私はたまたまテニスをやっているんですが、テニスの場合は個人競技なんで、野球とかサッカーみたいに団体スポーツではないんですけども、ただ、それでもですね、今までを振り返りますと、日本人でテニスで活躍してくれる人が、どんどんマスコミで色々取り上げられたりする人が出てきています。車椅子テニスとかも色々頑張って動いていらっしゃるんで、そっちのサポートをさせて頂きたいと思っております。というところでございます。ただテニスだけでなく、やっぱり色々な競技、先ほどご説明の通りたくさんありますけど、多く体験するというところからスタートしていくことが重要だと考えますので、医療も含めてそういう機会をやっぱりこれからも提供しながら、動かしていきたいと思っております。予算も含めて皆にご協力頂ければと思っております。よろしくお願いいたします。

6. 閉会あいさつ